

- ●会長 常盤卓嗣 ●副会長 片野之万 ●幹事 高橋建二 ●会報委員長 西村裕子 (2015~2016年度)E-mail:hiraturc@ma.scn-net.ne.jp
- ●例会日 毎週木曜日 12:15~13:30 ●会場 グランドホテル神奈中 平塚2F ●事務局 平塚市松風町2-10 平塚商工会議所内
- ●四つのテスト 1. 真実かどうか 2. みんなに公平か 3. 好意と友情を深めるか 4. みんなのためになるかどうか

# 第3033回例会 2016年1月21日 グランドホテル神奈中 週報第3033号

# 本日の卓話者ご紹介

(株)浜銀総合研究所 調査部 部長・主任研究員 北田英治様



# 卓話

# 「今年の経済展望一試される景気の自律的な回復力」

(株)浜銀総合研究所 調査部 部長・主任研究員 北田英治

2016年の年明けから、金融マーケットが大荒れの展 開となっている。その背景にあるのは、①中国経済に対 する不安と、②原油価格の大幅な下落に対する不安であ る。まず中国の中央銀行(中国人民銀行)が年初から通 貨人民元の切り下げを行ったことをきっかけに、中国経 済への不安が高まり、中国の株式相場が大幅に下落。こ れを受けて投資家の不安心理が高まり、世界的に株安の 動きが広がった。また、原油価格も足元で1バレル30 ドルの節目を割り込み、約12年ぶりの低水準に陥っ ている。原油安の原因は、中国など新興国の需要低迷 と、産油国が制御不能に陥った供給過剰である。米国の シェールオイルの生産が高水準で推移する一方で、OP EC(石油輸出国機構)は原油の減産で協調できない。 足元のサウジアラビアとイランの対立激化は減産協調を さらに難しくしている。米国のシェールオイルの生産が 減るまで、原油価格の上昇は見込みにくい状況にある。 原油価格の下落は、株式市場では石油などエネルギー関 連企業の株価下落をもたらしている。一方、外為市場で

は円高が進んでいる。これは中国経済の不安や過度な原油安への不安などを背景に、投資家がリスク回避姿勢を強める中で、低リスク通貨とされる円を買う動きが膨らんだためである。昨日、一時1ドル=115円台に円が上昇する場面もあった。

こうした状況を踏まえたうえで、日本経済に目を向け ると、日本の景気は回復基調を維持しているものの、回 復のテンポは極めて鈍い。輸出が一進一退の推移を続け る中で、個人消費がどうにか景気を支えている状況にあ る。個人消費増加の背景には雇用・所得情勢の改善があ る。「企業収益の増加→雇用や所得の増加→個人消費の 増加→生産の増加→企業収益の増加」という好循環が景 気の回復を支えており、こうした自律的な景気の回復力 こそがアベノミクスの原動力となっている。ただ、足元 の企業収益の増加は、①円安の進展と、②原油安による エネルギーコストの低下によってもたらされた面が強い 点に注意が必要である、そのため、企業は利益が増加し たからと言って、その利益を積極的に設備投資や賃金の 引上げに振り向ける状況には至っていない。その上、年 初からの為替レートの円高傾向は、先に述べた好循環の 起点である「企業収益の増加」を根底から揺るがす要因 となる。為替レートがこのまま1ドル=110円に向か うようなことがあれば、景気の自律的な回復の動きが停 止し、アベノミクス自体が行き詰る恐れすらある。だか らこそ、足元で日銀の追加金融緩和など政策対応を期待 する声が、政府・与党内からも高まっているわけである。 冒頭にも述べたが、年初からの円高傾向は、投資家のリ スク回避に伴う円買いによってもたらされている。何ら かの政策対応などで市場の不安心理が後退すれば、日米 金利差(米国-日本)の拡大を受けて、為替レートは再 び円安・ドル高基調で推移すると予想される。足元の株 式相場は企業業績から見て売られすぎの面もあり、市場 が落ち着いてくれば割安感からの買いが入ると見込まれ る。個人的には、今年、日経平均株価が再び2万円の大 台を試ず場面が訪れるのではないかと予想している。

# (<出席報告>

### 卓話者プロフィール

# 北田英治様

浜銀総合研究所 調査部 部長・主任研究員

#### ●経歴

昭和61年4月 横浜銀行入行

平成 3年3月 (社)日本経済研究センターへ出向(1年間)

平成 3年8月 証券アナリスト取得

平成 6年2月 株式会社浜銀総合研究所へ出向 平成18年7月 同社調査部 部長・主任研究員 現在に至る

#### ●活動内容

おもにマクロ経済・金融マーケットの分析を担当。浜銀総研「はまぎん金融・経済レポート」の作成などに携わる。神奈川県統計報告調整審議会委員。日本経済研究センター「ESPフォーキャスト調査」のレギュラー回答者を務め、2004年度と2007年度の優秀フォーキャスターに選ばれる。

FMヨコハマ「MORNING STEPS」の経済コーナーに、「ハマのマネーコンシェルジェ」として毎週レギュラー出演中。

#### <委員会報告>

●創立 60 周年新規事業特別委員会 清水 裕委員長 委員会では次年度に迎える創立 60 周年の記念として 始める新規事業の検討を重ね 2 年前に卓話でお越しの 『JIA』の活動を応援しようということになり、本日『JIA』

より3名にお越しいただきました。

本日は当クラブの例会の様子を知って頂く目的と、改めて『JIA』関係者の自己紹介をお願いしたいと思います。

#### Gakuvo センター長 西尾雄志様 プロフィール

(ハンセン病制圧活動サイトより抜粋)

1974年三重県桑名市生まれ。日本財団学生ボランティアセンター代表理事。早稲田大学平山郁夫記念ボランティアセンター客員准教授。二松学舎大学、聖心女子大学などで、ハンセン病問題やボランティアの振り返りに関する講義を担当。20歳の頃、フィリピンのハンセン病コロニーでの人口調査のボランティアで初めてハンセン病の問題にふれる。29歳の頃、中国のハンセン病快復村での活動を仲間と一緒に立ち上げる。ハンセン病問題と学生らの活動に関してまとめた書籍として、『ハンセン病の「脱」神話化一自己実現型ボランティアの可能性と陥穽』(皓星社)、『承認欲望の社会変革一ワークキャンプにみる若者の連帯技法』(京都大学学術出版会・共著)がある。趣味は散歩と読書(ノンフィクション)。

### NPO 家-JIA- 事務局長 原田燎太郎様 プロフィール

(ハンセン病制圧活動サイトより抜粋)

1978年、神奈川県生まれ。早稲田大学卒業後、2003年4月に中国ハンセン病快復村リンホウ村(広東省潮州市)に移住。2004年8月、ハンセン病快復村でのワークキャンプ(労働奉仕ボランティア)をコーディネートする中国のNPO「家一JIAー」を設立。日本だけでなく

中国での講演実績も豊富で、その活動は内外から大きな評価を得ている。2009年、広州ボランティア協会(共産党青年団広州委員会所属協会)により外国籍の個人としては初となる「十大傑出志願者」にも選出された。

# NPO 家一JIA 事務局 菅野真子様 プロフィール

(広東ジャピオンコラムより抜粋)

ハンセン病快復村で、ワークキャンプ活動(労働奉仕のボランティア)を行う家-JIA-で、営業と広を担当。留学で北京に滞在していた時、同団体の事務局長・原田さんのブログを見つけ「この人会ってみたい」と広州を訪れた。2008年1月、湖南省にある快復村でのワークキャンプに初めて参加する。

#### | <幹事報告>

### ◎米山奨学金終了学生終了会/歓送会開催のご案内

日 時: 2/14(日) 15:00~16:00 終了式

16:00 ~ 18:00 歓送会

場 所:藤沢商工会館

◎インターアクトー泊研修会日 時: 3 / 26 (土) ~ 27 (日)

場 所:厚木市七沢自然ふれあいセンター

\*3/26飯塚委員長が参加します。

## (<メークアップ> 0名

## **<本日のスマイル>** 11名

#### 【 くゲ ス ト > 】 5名

北田英治様(卓話者)

西尾雄志様(早稲田大学平山郁夫記念ボランティ

アセンター)客員准教授

原田燎太郎様(JIA 事務局長)

菅野真子様(IIA 事務局)

柳川信男様(入会前ゲスト)

## 〈ビジター〉 1名

高橋烈雄様(平塚湘南 RC)

# 【<卓話・行事予定>】

2月11日(木) 休会(祝日)

18日(木)『温故知新-2』升水一義

25日(木) 入会記念卓話 瀬尾光俊会員

3月 3日(木) 職業奉仕委員会・会員健康診断

10日(木) ㈱研進(障がい者就業支援団体) 代表取締役 出縄貴史様

#### (<市内例会変更>)

平塚西 2/24 (水) 休会